



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月6日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000
 管理部門・コーポレート部門管掌
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	429,681	3.6	11,148	△17.4	12,441	△16.4	8,059	△19.0
2021年2月期第3四半期	414,840	8.6	13,491	78.2	14,889	68.8	9,943	77.0

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 7,567百万円 (△44.0%) 2021年2月期第3四半期 13,520百万円 (205.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	142.69	—
2021年2月期第3四半期	176.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	255,820	161,847	63.2
2021年2月期	251,032	157,504	62.7

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 161,765百万円 2021年2月期 157,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2022年2月期	—	27.00	—		
2022年2月期（予想）				28.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	572,000	2.7	16,200	△8.7	18,000	△7.7	11,100	△14.4	196.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P.9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	57,649,868株	2021年2月期	57,649,868株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	1,171,451株	2021年2月期	1,171,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	56,478,550株	2021年2月期3Q	56,478,942株

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、2022年1月6日（木）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が10月1日付で全国的に解除されるなど、経済活動の再開に向けた明るい兆しが見えてきた一方、変異株による感染の再拡大が懸念されており、未だ予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、原材料及びエネルギー価格の高騰に伴う仕入・販売価格の上昇に加え、家計負担の増加に伴うお客様の節約志向及び低価格志向の高まり、行動自粛の緩和に伴う百貨店や外食需要への人流の増加など、食品スーパーを取り巻く経営環境は一層厳しさを増してまいりました。

このような状況の中、当社はコロナ禍におけるニューノーマルへの対応、デジタルシフトの加速と強化、業種・業態の垣根を超えた競合対策、気象・環境問題への取り組み、人口動態の変化への対応を課題として捉え、地域のライフレイン企業としてお客様に価値ある商品・サービスを低価格で提供すべく、営業活動を継続してまいりました。

コロナ禍におけるニューノーマルへの対応並びにデジタルシフトの加速と強化につきましては、食品スーパーの将来像も見据え、「リアルとテクノロジーの融合」を意識しながらデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みを通じて業務改革を進めてまいりました。

2021年1月に組織化した「DX推進委員会」におきましては、2019年10月に本格稼働した新基幹システムの利活用や好事例の水平展開を図ることで販売力の強化並びに業務の効率化に取り組んでまいりました。また、グループの後方管理業務におきましても、従前人手をかけて行っていたデータの抽出や入力、加工といった定型業務についてRPA（業務プロセスの自動化）への移行を進めるべく、業務の標準化並びにRPAの稼働に向けたデジタルツールの開発に着手しております。

加えて、2021年11月には、多様な決済ニーズへの対応とお客様の更なる利便性向上のため、「アークスアプリ」をリニューアルいたしました。これにより、アプリ上でのRARAポイント付与が可能となった他、「RARAプリカ（プリペイドカード）」会員様は、プリペイドカード払いやRARAポイントのチャージについて、カードを持ち歩かなくともアプリのみで完結することが可能となりました。更に、デジタルデータの活用による販売促進並びにお客様へのサービス向上のため、デジタルマーケティング推進に向けたグループ横断のプロジェクトチームを設置いたしました。

業種・業態の垣根を超えた競合対策につきましては、㈱ラルズの「生活防衛価」企画や㈱ユニバースの「家計応援」企画などを実施し、価格訴求を強化してまいりました。また、2021年10月には㈱ラルズが運営する「アークスオンラインショップ」をオープンいたしました。札幌市及び石狩市の一部を含む約22万世帯を対象（12月7日付で約48万世帯まで対象を拡大）に、店頭で販売している生鮮食品、惣菜を含む食料品の他、雑貨や衣料品に加え、店頭で取り扱いのない商品のお取り寄せサービスも行うなど、お客様の多様なニーズへの対応を進めております。加えて、㈱福原や㈱道北アークスの一部店舗におきましても、フードデリバリーサービス専門業者と提携し、店頭で取り扱う食料品などの配送サービスを開始いたしました。

また、アークスグループの基盤充実という点では、2021年4月に、栃木県下を中心に食品スーパーマーケット31店舗を展開する㈱オータニが新たに当社グループ入りを果たしました。「アークス・オータニ統合委員会」での活動を通じ、アークスグループにおける企画商品の新規導入や競合店対策を含む店舗運営ノウハウの共有、各種社内規程の整備や内部統制の強化など、営業面や管理面での統合効果の創出に努めております。

株式会社パローホールディングス、株式会社リテールパートナーズ及び当社の3社間で結成した「新日本スーパーマーケット同盟」（以下、「同盟」といいます。）におきましては、4つの分科会活動を通して、具体的な相乗効果の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。商品分科会では、地場商品や産地情報・取引先情報の相互共有、共同での販促企画及び商品開発を、運営分科会では消耗資材・什器備品の共同調達の推進、店舗開発や物流に関するノウハウの共有を進めてまいりました。また、間接部門分科会では人員採用や人材教育に関するノウハウの共有、バックオフィス業務の共同研究を、次世代領域開発分科会では店舗運営コストの低減に向けた共同研究、金融・決済事業に係る共同運営の検討、次世代型店舗の実現に向けた新たなテクノロジーの共同研究を実施するなど、それぞれの分科会における効果創出を着実に実現してまいりました。

店舗展開につきましては、変化するお客様のニーズに対応するため、2021年7月に「ビッグハウス青山店」（㈱ベルジョイス）を「スーパーアークス青山店」へ、同年8月に「ラルズマート発寒店」（㈱ラルズ）を「スーパーアークス発寒店」へ、同年9月に「ビッグハウス大路店」（㈱ラルズ）を「スーパーアークス大路店」へ、計3店舗の業態変更を実施した他、㈱ユニバース2店舗、㈱福原2店舗、㈱道北アークス1店舗、㈱東光ストア1店舗、㈱道南ラルズ1店舗の改装を実施し、業態変更を含む改装店舗は合計10店舗となりました。なお、新規出店・閉店はございませんでしたが、グループ入りした㈱オータニの栃木県30店舗、埼玉県1店舗が加わった結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総店舗数は375店舗となりました。

気象・環境問題並びに人口動態の変化への対応を含むサステナビリティを巡る諸課題につきましては、アークスグループとして経営の最重要課題として捉えており、2021年11月には更なる活動の深化を目的に「SDGs推進委員会」を設置いたしました。本委員会での活動を通じ、これまで取り組んでまいりましたグループ全社共通の取り組み並びに事業会社固有の取り組みを発展させるとともに、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の枠組みに基づく開示の検討を進めるなど、持続可能な社会の実現への貢献並びに企業価値の向上を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、㈱オータニの業績寄与などもあり4,296億81百万円（対前年同期比3.6%増）となりました。販管費につきましては、人件費や水道光熱費、販促費を中心に対前年同期比で増加し、営業利益は111億48百万円（対前年同期比17.4%減）、経常利益は124億41百万円（対前年同期比16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80億59百万円（対前年同期比19.0%減）と、前年のコロナ特需からの反動減がみられたものの、売上高は業務予算を僅かながら達成（計画対比+0.7%の達成）し、利益面においても概ね業務予算通りに推移いたしました。

（2）財政状態に関する説明

① 財政状態

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して、47億87百万円増加し、2,558億20百万円となりました。この主な要因は、たな卸資産が28億19百万円、土地が31億50百万円増加した一方で、現金及び預金が29億35百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して、4億44百万円増加し、939億72百万円となりました。この主な要因は、買掛金が44億22百万円、短期借入金が31億28百万円増加した一方で、未払法人税等が34億18百万円、未払消費税等が12億84百万円、賞与引当金が14億32百万円、及び長期借入金が26億25百万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、43億43百万円増加し、1,618億47百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が48億39百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が5億53百万円減少したことなどによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント上昇し63.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末と比較して30億49百万円減少し607億18百万円（対前年同期末比46億6百万円の増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、89億63百万円（対前年同期比57.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益124億81百万円、減価償却費64億86百万円、賞与引当金の減少額15億10百万円、たな卸資産の増加額18億51百万円、仕入債務の増加額31億38百万円、及び法人税等の支払額74億41百万円などによるものです。また、得られた資金が減少した要因は、税金等調整前四半期純利益や未払消費税等が減少したこと及び法人税等の支払額が増加したことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、25億56百万円（対前年同期比43.1%減）となりました。これは主に、店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出34億円、システム関連投資に伴う無形固定資産の取得による支出5億33百万円、及び保険積立金の解約による収入7億4百万円などによるものです。また、使用した資金が減少した要因は、システム関連投資に伴う無形固定資産の取得による支出が減少したことに加え、第1四半期連結累計期間において㈱オータニのグループ入りに伴う子会社株式の取得による収入及び保険積立金の解約による収入が発生したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、94億57百万円（対前年同期比96.3%増）となりました。これは主に、短期借入れによる純増減額13億円、長期借入金の返済による支出41億24百万円、及び配当金の支払額31億86百万円などによるものです。また、使用した資金が増加した要因は、短期借入金が減少したこと及び長期借入れによる収入が減少したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月13日に公表いたしました当社連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,835	60,900
売掛金	4,031	4,990
たな卸資産	14,519	17,339
未収入金	5,601	4,684
その他	2,877	3,712
貸倒引当金	△30	△44
流動資産合計	90,834	91,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,723	44,386
土地	68,651	71,802
リース資産(純額)	4,199	4,508
その他(純額)	4,607	5,395
有形固定資産合計	121,183	126,091
無形固定資産		
のれん	327	257
ソフトウェア	10,775	9,784
ソフトウェア仮勘定	356	176
その他	339	335
無形固定資産合計	11,799	10,553
投資その他の資産		
投資有価証券	10,392	9,611
敷金及び保証金	10,676	11,527
繰延税金資産	5,177	5,221
その他	984	1,245
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	27,216	27,593
固定資産合計	160,198	164,238
資産合計	251,032	255,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,237	33,659
短期借入金	5,711	8,840
リース債務	1,119	1,237
未払金	8,070	7,258
未払費用	3,178	3,322
未払法人税等	4,804	1,385
未払消費税等	2,177	893
賞与引当金	2,825	1,392
ポイント引当金	3,788	4,536
その他	1,787	2,672
流動負債合計	62,701	65,200
固定負債		
長期借入金	11,411	8,785
リース債務	4,351	4,498
退職給付に係る負債	5,543	5,621
役員退職慰労引当金	1,132	1,152
長期預り保証金	4,314	4,268
資産除去債務	3,780	4,165
その他	293	279
固定負債合計	30,826	28,771
負債合計	93,528	93,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,205	21,205
資本剰余金	24,996	24,996
利益剰余金	115,537	120,377
自己株式	△2,752	△2,752
株主資本合計	158,987	163,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	528	△25
退職給付に係る調整累計額	△2,094	△2,035
その他の包括利益累計額合計	△1,565	△2,060
非支配株主持分	82	82
純資産合計	157,504	161,847
負債純資産合計	251,032	255,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	414,840	429,681
売上原価	310,527	319,907
売上総利益	104,312	109,774
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	2,558	2,835
店舗賃借料	5,233	5,638
ポイント引当金繰入額	5,358	5,427
役員報酬	487	571
給料及び手当	39,476	41,618
賞与引当金繰入額	1,295	1,790
役員退職慰労引当金繰入額	49	50
退職給付費用	908	916
水道光熱費	5,844	6,552
租税公課	2,132	2,219
減価償却費	6,090	6,481
のれん償却額	70	93
その他	21,315	24,431
販売費及び一般管理費合計	90,820	98,625
営業利益	13,491	11,148
営業外収益		
受取利息	35	33
受取配当金	148	144
持分法による投資利益	88	68
業務受託料	445	452
ポイント収入額	276	268
その他	608	502
営業外収益合計	1,603	1,470
営業外費用		
支払利息	116	125
その他	89	52
営業外費用合計	205	177
経常利益	14,889	12,441
特別利益		
固定資産売却益	13	54
保険解約返戻金	12	141
その他	0	25
特別利益合計	26	221
特別損失		
固定資産除売却損	104	50
減損損失	4	—
保険解約損	—	108
その他	24	21
特別損失合計	133	181
税金等調整前四半期純利益	14,782	12,481
法人税等	4,835	4,419
四半期純利益	9,946	8,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,943	8,059

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年11月30日）
四半期純利益	9,946	8,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,343	△553
退職給付に係る調整額	229	58
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	3,573	△495
四半期包括利益	13,520	7,567
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,517	7,563
非支配株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,782	12,481
減価償却費	6,096	6,486
受取利息及び受取配当金	△183	△178
支払利息	116	125
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,137	△1,510
ポイント引当金の増減額(△は減少)	649	638
売上債権の増減額(△は増加)	△686	△774
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,166	△1,851
仕入債務の増減額(△は減少)	3,935	3,138
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,077	△1,389
その他	1,199	△813
小計	24,681	16,351
利息及び配当金の受取額	179	171
利息の支払額	△108	△117
法人税等の支払額	△3,566	△7,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,186	8,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,555	△3,400
有形固定資産の売却による収入	253	211
無形固定資産の取得による支出	△1,060	△533
差入保証金の差入による支出	△226	△36
差入保証金の回収による収入	333	151
預り保証金の返還による支出	△118	△171
預り保証金の受入による収入	47	26
定期預金の預入による支出	△96	△96
定期預金の払戻による収入	46	182
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	341
保険積立金の解約による収入	—	704
その他	△117	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,492	△2,556
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300	△1,300
長期借入れによる収入	3,400	300
長期借入金の返済による支出	△3,939	△4,124
配当金の支払額	△2,794	△3,186
その他	△1,182	△1,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,817	△9,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,876	△3,049
現金及び現金同等物の期首残高	44,212	63,767
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,111	60,718

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、当社が2021年4月14日付で株式会社オータニの全株式を取得したため、同社及びその完全子会社である株式会社ボックス・プランニング（以下、「同社グループ」といいます。）を連結の範囲に含めております。なお、2021年3月1日をみなし取得日としております。また、同社グループの決算日は8月31日であり、当社の連結決算日と異なるため、仮決算を行った財務諸表を基礎として四半期連結財務諸表の作成を行っております。

2021年7月1日付で株式会社ボックス・プランニングは株式会社オータニ農場に商号変更しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

3. 補足情報

販売実績

セグメントの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
小売事業	食 品	350,412	84.5	364,292	84.8	104.0
	衣 料 品	1,390	0.3	1,354	0.3	97.4
	住 居 関 連	17,220	4.2	16,471	3.8	95.6
	酒 類 等	30,261	7.3	32,090	7.5	106.0
	テ ナ ント	10,697	2.6	10,352	2.4	96.8
	不動産賃貸収入等	3,954	1.0	4,233	1.0	107.0
	計	413,937	99.8	428,793	99.8	103.6
その他	観 光 事 業	10	0.0	10	0.0	102.8
	そ の 他 の 事 業	892	0.2	876	0.2	98.3
	計	902	0.2	887	0.2	98.3
合 計		414,840	100.0	429,681	100.0	103.6

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。